

2019/06/11

全国キャリア教育・就職ガイダンス
障害のある学生のキャリア教育・就職支援

発達障害のある学生の 就労に関する現状と課題

筑波大学 青木真純

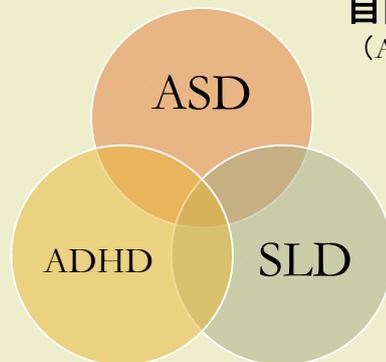
2

こんな学生はいませんか？ —就職活動編—

- 就職活動を開始する時期に、必要な単位が全く取得できていない。
- エントリーシートに誤字脱字が多い。
- 書類選考は通過するが、いつも面接で落とされる。
- 得意や苦手が自己評価と他者評価とで大きく異なる。
- マナーに関する知識がない。敬語を使えない。
- こちらが期待する通りに理解しないことが多い。
- 障害者手帳を取得していて、障害者枠と一般枠で迷っている。

3

大学生によく見られる 発達障害の3つの特徴



自閉スペクトラム症

(Autism Spectrum Disorder)

対人コミュニケーションや感覚の独特さ

- 曖昧な表現の理解が難しい
- ノンバーバルな表現やマナーをなんとなく身に付けることが難しい
- 感覚特異性（聴覚過敏など）

注意欠如多動症

(Attention-Deficit/ Hyperactivity Disorder)

注意力をコントロールすることの難しさ

- 作業に集中できないことがある
- 忘れ物や落とし物が多い
- 系統立てて物事を進めるのが苦手

限局性学習症

(Specific Learning Disabilities)

特定の学習が極度に習得しにくい

- 主に読み書きが苦手
- 外国語の単位習得が著しく難しい

4

ASDのある方の就業上の困り事と対処法の例

コミュニケーションの独特さによって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 相手との距離感がつかめず、やりとりがちぐはぐになったり、一方的になることがある
 - 会話のルールを知識として伝える
- ✓ 言葉の省略や言外の意味、忖度など、あいまいな指示はわかりにくい
 - 明確な指示（複数の解釈が生じない）を出す
- ✓ 敬語や社会常識、マナーをなんとなく身につけることが難しい
 - どうすべきかを伝える

柔軟な対応の難しさや感覚過敏等によって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 突然の予定の変更があると不安になったり、パニックになることがある
 - 事前に予定変更の可能性を含めて伝えておく
- ✓ 仕事の手順や細かいところにこだわり、仕事が進まない
 - あらかじめ仕事の進め方についてのルールを決めておいたり、作業の進捗状況を途中で確認する機会を設ける
- ✓ 突然さわられることや特定の音や光が極端に苦手なことがある
 - パーティション、イヤホンやサングラスなどを利用する

5

ADHDのある方の就業上の困り事と対処法の例

多動性が原因となって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 会議のときなど、そわそわしたり、貧乏ゆすり等のくせがやめられないことがある
 - 音の出ないもので対応する、他にやることを決めておく、休憩をとる

衝動性が原因となって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 思ったことをすぐに言動に移してしまい、後悔することがある
 - 「ちょっといいですか」と言ってから発言するなど一呼吸おく
- ✓ 優先順位や計画を立てて実行すること（段取り）が苦手な中途半端になる
 - やる順番を確認したり、途中の進捗状況を報告する機会を設ける

不注意が原因となって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 必要な物をなくしてしまう、忘れっぽい
 - アプリ（支援機器）の使用、予備を準備する、リマインダー利用
- ✓ 締め切りや約束の時間に間に合わない
 - やるべきことを細かい作業に区切る、カウントダウンタイマー利用
- ✓ ケアレスミスが多い（誤字脱字、メール添付忘れ、宛先間違い）
 - 読み上げソフト利用、確認リストの作成

6

SLDのある方の就業上の困り事と対処法の例

読むことの困難さが原因となって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 書いてあることを読んで理解するのに時間がかかる、負担が大きい
 - 読み上げソフト等の利用、大事なところがわかるような資料の提供

書くことの困難さが原因となって起こりやすいこととその対処法

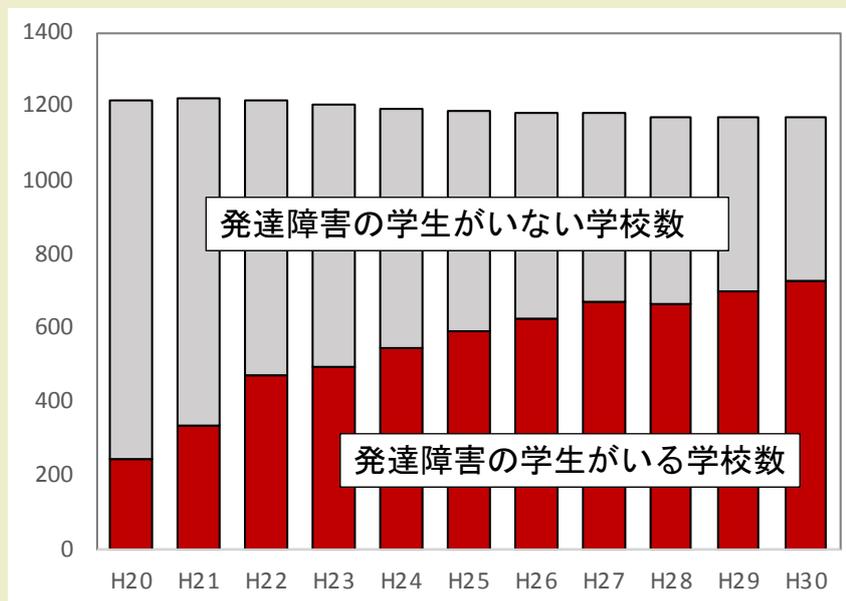
- ✓ メモをとるのが遅い、自分で書いた書類の間違いに気づきにくい
 - 資料の電子データ配布、記録媒体の使用

計算することの困難さが原因となって起こりやすいこととその対処法

- ✓ 数量データの扱いが苦手、計算間違いが多い、おつりを間違える
 - ダブルチェック、計算のオート化

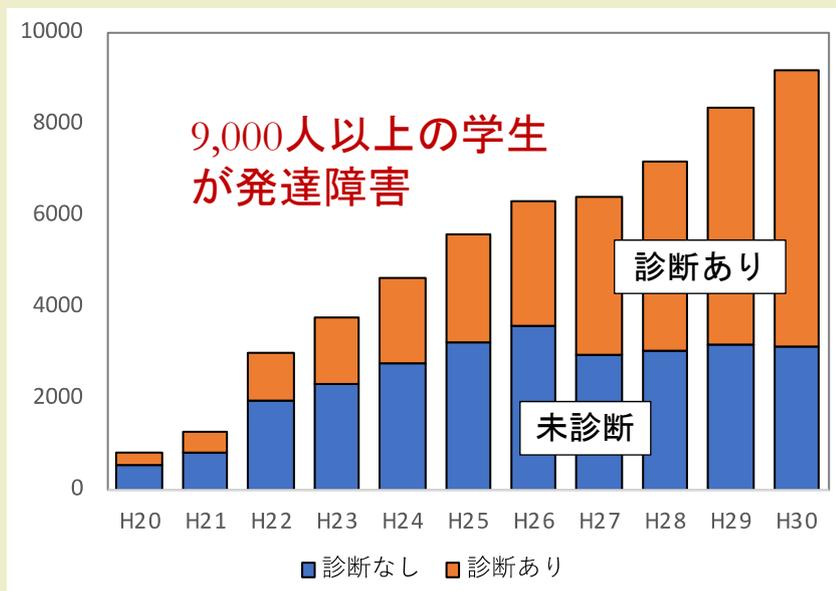
7

発達障害のある学生のいる 在籍校の推移（2008-2018年）



• 日本学生支援機構「平成30年度(2018年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」より作成

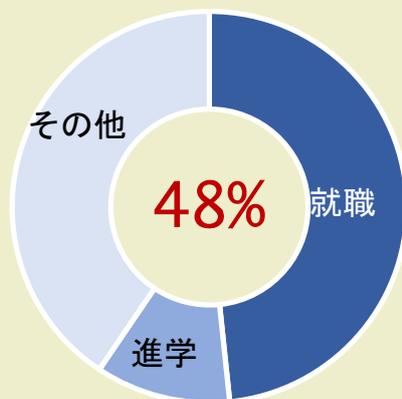
発達障害のある学生の在籍数の 推移（2008-2018年）



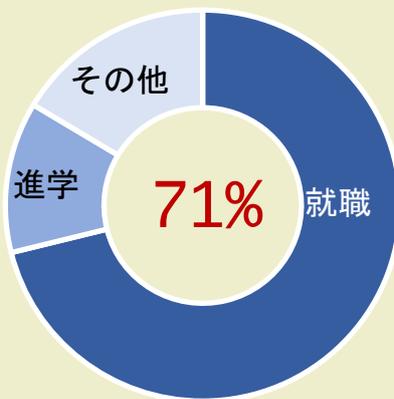
• 日本学生支援機構「平成30年度(2018年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」より作成

発達障害のある学生の就職率

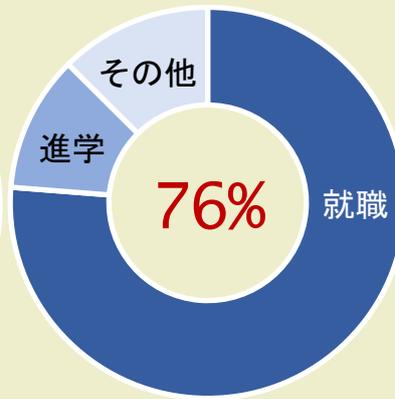
発達障害



聴覚障害



全学生

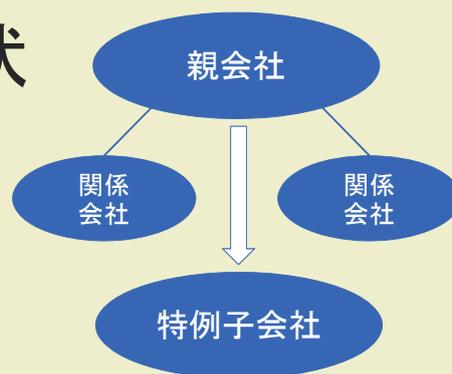


- 日本学生支援機構「平成30年度(2018年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」
- 文部科学省「学校基本調査—平成30年度結果の概要—」

10

障害者雇用とその現状

- ❖ 一般雇用枠
- ❖ 障害者雇用枠（障害者手帳が必要）
 - ① 一般企業での障害者雇用
 - ② 特例子会社での雇用



障害者雇用における法定雇用率とその現状

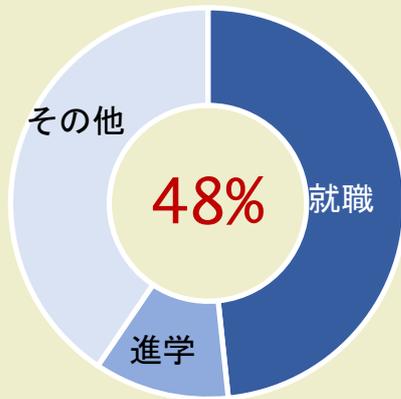
事業主区分	法定雇用率(H30~)	実雇用率(H30)	達成率(H30)
民間企業	2.2%	2.05%	45.9%
国の機関	2.5%	1.22%	18.6%
都道府県の機関	2.5%	2.44%	61.5%
市町村の機関	2.5%	1.90%	69.6%
都道府県等の教育委員会	2.4%	1.90%	39.0%

厚生労働省「平成30年障害者雇用状況の集計結果」より

11

発達障害のある学生の就職

発達障害



一般求人

よいところ

- 昇給がある
- 仕事の選択肢が多い

むずかしいところ

- 理解や配慮を得にくい
- 苦手な仕事を求められることもある
- 残業、部署移動、転勤がある

障害者求人

よいところ

- 理解や配慮が得やすい（障害者が多い）
- 特例子会社では、指導員が配置される

むずかしいところ

- 正社員の求人が少ない、契約社員の求人が多い
- 給料がやや安く、昇給が少ない
- 希望する職種が少ない

12

大学在学中に利用できる学外サービス

○ 就労移行支援（障害福祉サービス受給者証が必要）

1. 大学において就労支援の実施が見込めない、または困難
2. 大学卒業年度であって、卒業に必要な単位取得が見込まれている
3. 本人が就労移行支援の利用を希望し、その利用により効果的かつ確実に就職に繋げることが可能と市町村が判断

○ 就労移行支援事業者による学生向けプログラム

診断や手帳の有無は問わないが、有料なことが多い

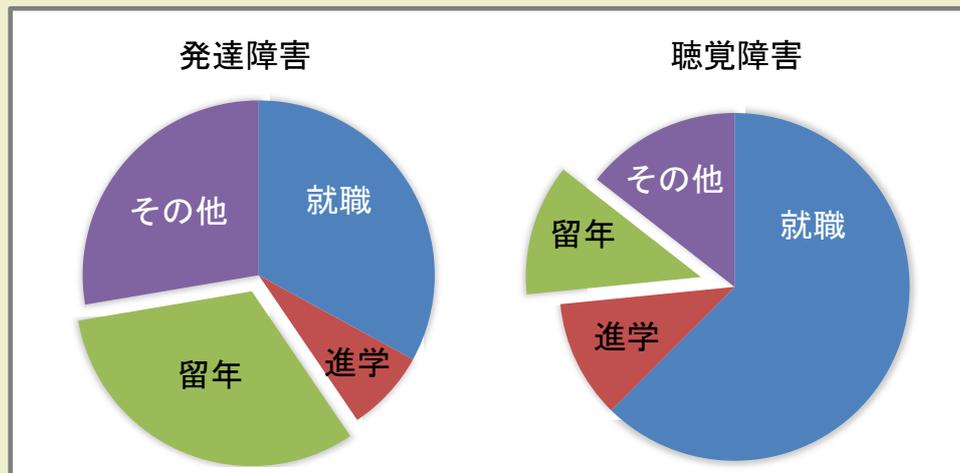
○ 新卒応援ハローワーク

○ 若年コミュニケーション能力要支援者就職プログラム（ハローワーク）



13

発達障害のある学生の進路



発達障害のある学生は、卒業が難しく、就職率が低い

- ・自分のペースで修学（e.g. 卒論終了後に就活, 長期履修制度利用）
- ・他の人と同じタイミングでの就職が難しい（e.g. 面接に通らない）
- ・他の人と同じタイミングでの卒業が難しい

- ・ 日本学生支援機構「平成30年度(2018年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」より作成

14

修学とキャリア支援はつながっている

- 大学で支援の必要な学生は、基本的には就職後も支援の必要な人
 - 修学上で「うまくできた」経験があれば、それを元に「うまくできる」やり方を考えていける
- 合理的配慮とあわせて、修学段階から教育的支援の必要のある学生への対応により、就職率アップや学生が希望する人生により近づけていけることも

15

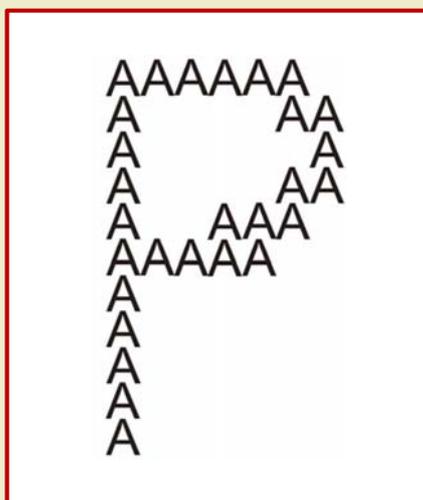
発達障害のある学生が考案した困りごとに対する解決法

困りごと	解決法
金曜日は疲れてしまって感覚過敏が増幅される	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日だけスピーカーから離れた席に座る ・コードのないノイズキャンセリングイヤホンを使用して、話を聞いていない感じを出さない
話を聞いてもどこが大事かわからないので、ノートが取れない	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートをとるのがうまい友達の近くに座って、友達がノートを書くタイミングで先生の話をもとめる ・運動障害のある人のノートテイク支援をして、どの部分をノートにとればいいのか勉強する
蛍光灯のチラつきが気になる	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを使用する先生の授業を多くとって、授業中に電気が消える最前列の席に座る ・前に座ることで、先生にがんばっているアピールもできる
ゼミの指導の際、先生や先輩の話が長いと何が言いたいかわからない	<ul style="list-style-type: none"> ・わからなくなったら、「齟齬のないように確認したいのですが、それってつまり…」と言って相手が要点を答えるように仕向ける

岡崎・青木（2016）より抜粋

16

この図形がどのように見えますか？



➤ ASDのある人；
「A」と処理する方が早い

➤ ASDのない人；
「P」と処理する方が早い

Bernardino et al., 2012より抜粋

17

<http://dk.specialisterne.com/en/>

Inclusion through neurodiversity.



Taking talent - making opportunity